

平成28年12月6日、第45回渋川摂食嚥下研究会が開催されました。
今回は、当研究会の代表である、渋川医療センター NST・褥瘡委員会委員長
合田 司先生による講演会でした。

テーマ『渋川医療センターNSTの活動とこれからの栄養地域連携』

主な内容は

- 1 合田先生と栄養療法とNSTを振り返る（過去）
- 2 渋川医療センターNSTの活動（現在）
- 3 これからの栄養地域連携（未来）

2000年(H12年)演者が当時勤務していた病院で、
嚥下訓練食を提案、2年後には経管栄養注入マニ
ュアルの作成とNST立ち上げを行った経緯。

2005年(H17年)渋川総合病院NST活動開始後は
ランチカンファレンスや広報誌の作成を行う。

2009年(H21年)からは当研究会が発足、以降毎
年6回開催され、今回で45回目となった。

前回までの延べ参加人数は約3500人、1回平均約
80人となっている。

今後も、今までのネットワークをフルに活用し、
多職種からの情報はもちろん、最新情報の共有の場
として積極的に活動を行って行きたい。

さらには、開催のみならず、その内容も出席でき
なかつた方へ発信する試みをしていきたい。

Nネットぐんまの投稿だけで無く、独自の情報紙も作成できればと思う。

と、熱い思いを話されました。

今回も、多職種から多くの皆さんが参加していただき、今後への期待も多く聞かれました。

《今回参加者状況》

医師…8名
歯科医師…3名
薬剤師…2名
保健師・看護師…14名
歯科衛生士…2名
ST…5名 PT…2名 OT…2名
栄養士…8名
MSW・相談員…3名
ケアマネ…7名
介護員…36名
その他…0名

計 92名

